

『自分臨床を磨く会』

2019年度 参加者募集

日本臨床心理士資格認定協会の研修ポイント申請予定

私たち心理士は、日々、何に思いを巡らせ、頭を悩ませているのでしょうか。ひとつひとつのケースや職場（組織）と向き合うとき、何に心を尽くしているのでしょうか。

『自分臨床を磨く会』では、今現在、自分が心理士として向き合っているテーマに向き合い、自分の臨床を見つめる時間をもちます。

臨床は決断の連続です。今、目の前にある状況をどう理解するのか、クライアントにどんな言葉を返すのか、それを決めるのは自分しかいません。自分なりの「臨床への向き合い方」を、同じ志を持つ仲間と共に1年かけて探してみませんか。

「自分はどんな心理士になりたい？」
「心理士としての専門性って、何？」など
思い巡らせている方、職場（組織）や個別のケースに採まれながら日々の職務に奮闘されている方、ご参加をお待ちしています。

◆日時：全11回（原則通年参加）

4/14(日) 5/12(日) 6/2(日)
7/7(日) 9/8(日) 10/13(日) 11/10(日)
12/8(日) 1/12(日) 2/9(日) 3/8(日)

各回 10時～12時（受付 9時50分）

◆場所：茨木市立男女共生センターローズWAMなど
<http://www.rosewam.city.ibaraki.osaka.jp/>

◆定員：14名(先着順)

◆参加費：年間10,000円

《お申し込み方法》

件名を「自分臨床を磨く会」とし

①名前 ②ふりがな ③所属 ④職種 ⑤メールアドレス ⑥臨床心理士資格登録番号
を記載し、下記アドレス「自分臨床を磨く会」事務局(坂本)まで。

jilin_2017@isc.jpn.org

*お申し込み後、2日を経過しても返信がない場合は、
改めて上記アドレスまでその旨ご連絡ください。

(締切：2019年3月24日(日))

Facebook: <https://www.facebook.com/jibunrinsho>

- ◆年間日程 : 全11回 (原則通年参加)
4/14(日) 5/12(日) 6/2(日) 7/7(日) 9/8(日) 10/13(日)
11/10(日) 12/8(日) 1/12(日) 2/9(日) 3/8(日)
- ◆開催時間 : 10～12時 (受付 9時50分～)
- ◆開催場所 : 茨木市立男女共生センターローズWAM など
<http://www.rosewam.city.ibaraki.osaka.jp/> (会場は変更する場合があります)
- ◆参加費用 : 年間10,000円 (4/14 に会場にてお支払いください)
- ◆参加資格 : 話題提供が可能な、臨床心理士、公認心理師、もしくは心理臨床を学ぶ大学院生

◆内容 : *イスのみの車座で進める形をとっています。

10:00～10:05 導入

10:05～10:15 担当者からの投げかけ：“ちょっと立ち止まって考えたいこと”

⇒ 毎回お1人の方に担当頂き、日々の臨床の中で立ち止まって考えてみたいと思うことについてお話し頂きます。

10:15～11:50 全員でディスカッション

⇒ 担当者以外のメンバーを中心に、「立ち止まって考えたいこと」について理解を深めます。お1人お1人が自分の臨床のあり方を振り返り、整理していくことも出来るよう、その場で感じたことや思い浮かぶことを出し合うことに重点をおいています。

11:50～12:00 まとめ、片付け

<これまでのテーマ例>

「心理職の意味、CIと向き合うとは？」

「障がい受容」「死」という言葉のもつ本当の意味って何？自分のテーマを抱えてもがくCIを目の前に、最近、心理士として何も提供できない無力感を感じる…

「CIもThも守られた臨床作り」

『枠』って、何だろう。臨床って、『枠』に“守られた”中で行うものだと思っていた。「セラピー」以外の場で、「Th」ではない形でCIに出会うことが多い今の職場、正直戸惑います。

「“組織と共に在る”心理士とは？」

日々の個別ケースに必死で向き合う中、ふとよぎる虚しさ。私は学校にとって意味のある存在？組織の中にちゃんと位置づいている？“組織と共に在る”心理士でありたいけれど、それってどうしたら？

「臨床心理士という職業特性とワークライフバランス」

「心理士」と「会社の一員」、「仕事」と「プライベート」、どちらも両立し、機能させ続けられるだろうか…？自分の人生の節目を迎える今、「心理士という社会人」として在り続けられるのか、不安がよぎります。

∞活動日記∞

Facebook: <https://www.facebook.com/jibunrinsho>
大阪彩都心理センターHP: <http://isc.jp.org/> (『スクールカウンセラー研究会』として掲載)